

令和6年度 神戸市政に対する要望書を提出

ビヨンドコロナに向けたビジネス変革支援や神戸空港国際化への対応強化などを要望

当商工会議所は、「令和6年度神戸市政に対する要望」を取りまとめ、9月25日、川崎会頭より久元市長、坊市会議長らに要望書を提出した。

神戸市政に対する要望活動は、次年度の市の施策や予算措置に商工会議所の意見を反映させるため、毎年実施している。今回は、ビヨンドコロナを見据えた「ビジネス変革・新事業展開支援」を筆頭に、「中小企業の事業継続に向けた持続的支援」「神戸空港国際化に向けた対応」「まちの賑わいづくり」などを軸に全27項目を要望。また、特別要望事項として、「2025年大阪・関西万博

の最大限活用」を盛り込んだ。

要望の席上、川崎会頭は、神戸空港国際化に向けて、まずは2025年を万全な受け入れ態勢で迎えるとともに、2030年を見据えたハード・ソフト両面での整備を加速させる必要があるとした上で、「神戸空港の成長発展にはポートアイランドが鍵を握る。コンベンションセンターの再整備や南北アクセス改善につながる地下鉄導入など、中長期的な目線で大胆に取り組んでほしい」と訴えた。また、当面は万博の最大限活用が重要であると指摘し、「商工会議所としても神戸市と連携して、この好機

を確実に捉えるべく取り組む」と強調した。

久元市長は、「2025年に向けてサブターミナル整備を確実に間に合わせるなど、2030年を睨んだ対応を進めるのは当然のこと」と応じ、他都市に後れをとる都市型創造産業の振興に向けては、「その分野を牽引するスタートアップの活躍に向けて、商工会議所と一緒に支援を進めたい」と語った。

当商工会議所では、今後も経済動向や国際情勢の影響を注視しつつ、適宜、地元行政に対し意見要望活動を行っていく。



久元市長（左）に要望書を手交する川崎会頭



坊議長（中央）、河南副議長（左）に要望

要望事項

1. 中小企業のビジネス変革・新事業展開支援

- (1) ビジネス変革・事業再構築への支援
- (2) DX推進、セキュリティ対策強化に向けた支援
- (3) 脱炭素化・カーボンニュートラル実現に向けた支援
- (4) 販路開拓・ビジネス拡大に向けた支援

2. 中小企業の事業継続に向けた持続的支援

- (1) 原油・原材料高騰の影響を受ける中小企業等への支援強化
- (2) 人材確保・育成に向けた支援
- (3) 事業継続に向けた資金繰り支援
- (4) 円滑な事業承継ならびに創業支援
- (5) ファッション産業の振興
- (6) 地域商業の活性化に向けた支援

3. 神戸空港国際化に向けた対応

- (1) 神戸空港の利用促進ならびに規制緩和に向けた働きかけ強化
- (2) 空港ターミナルビルの整備強化
- (3) 南北アクセス強化に向けた地下鉄導入の早期検討

4. まちの賑わいづくり

- (1) 滞在型観光の推進
- (2) 神戸固有の自然資産等を活用した観光振興
- (3) インバウンド誘客促進に向けた支援
- (4) MICE誘致強化によるポートアイランドの活性化
- (5) スポーツ・文化・芸術を活用した都市の魅力創造

【特別要望】2025年大阪・関西万博の最大限活用

- (1) インバウンドをはじめとする観光誘客の促進
- (2) 地元企業・産業のプロモーション促進
- (3) 機運醸成に向けた取り組み強化

5. 都市基盤の整備

- (1) 都心・三宮の再整備加速化
- (2) 神戸港の国際競争力強化に向けた取り組み
- (3) 道路ネットワークの早期整備

6. 神戸経済の次代を担う産業育成

- (1) 神戸のポテンシャルを活かした外資系企業の誘致強化
- (2) 地域経済を牽引するスタートアップ支援とエコシステムの実現
- (3) 神戸医療産業都市の推進

7.27 / 8.17 / 9.14

越境EC販促のイロハを体系的に学ぶ

越境EC売上げアップ勉強会

国際ビジネス委員会は、越境ECを活用して売上げアップを目指す勉強会を開催した。

当商工会議所では、昨年度より越境ECサイト「ZenPlus」と連携し、特集ページ「KOBE♡HYOGO Fair」を開設して会員企業の商品を紹介してきた。現在、会員企業約80社が同サイトを利用しており、勉強会には食品や雑貨、家電などを扱うさまざまな地元企業から、経営者や担当者ら24名が参加した。

全3回となる勉強会では、ZenPlusを運営するZenGroup(株)の向吉里樹氏と並木祐臣氏、NE(株)の上田凌一郎氏と平木祥悟氏を講師に迎え、越境ECを活用した海外販促のポイントを学んだ。第2回では「購入につなげるための商品撮影のコツ」についても解説。実際に参加者がスマートフォンで商品写真を撮る実演も行われた。

参加者からは「国内市場が縮小する中、海外への販路拡大を奮起するきっかけになった。SNSも上手く活用していきたい」と意欲的な声が聞かれた。

当商工会議所では引き続きZenPlus利用企業を募集しており、越境ECを活用した販促支援を行っていく。



産業部産業・国際チーム

9.5

若手社員が 仕事をやり遂げる力を身につける

目標達成に必要な「やり抜く力」と「習慣力」



目標達成に不可欠な遂行力を身につけるため、(株)セルフ・インプルーブの和田勉氏を講師に迎え、セミナーを開催した。

和田氏は、困難な課題にも情熱と粘り強さで向き合う重要性を説き、「仕事をやり遂げるには、長く継続的な努力が求められる。若手社員には、少し背伸びした目標に挑戦する経験を積み重ねてほしい」と語った。

参加者からは、「やり抜く力を習慣化する仕組みを取り入れ、仕事の成果に繋げたい」との声が聞かれた。

会員事業部人材開発チーム

9.19

万博会場での 展示・発表メニューなどを紹介

2025年大阪・関西万博セミナーin KOBE



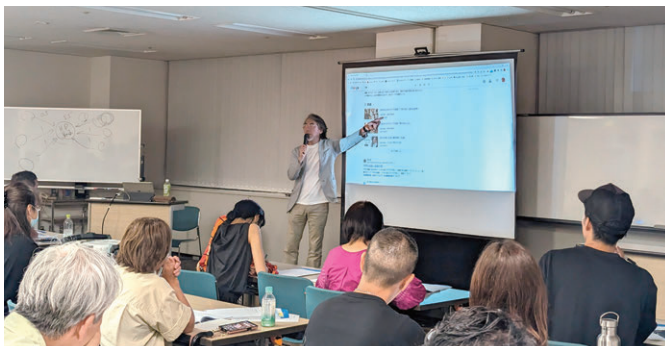
万博特別委員会は、大阪・関西万博の最新動向や参加メニューなどを紹介するオンラインセミナーを開催した。

当日は、(公社)2025年日本国際博覧会協会の担当者より、万博の最新動向や参加メニューを中心に説明。新たに募集を開始した一般催事や、幅広い企業や団体による参加型プログラム「TEAM EXPO 2025」による展示・発表概要を紹介し、「社会課題の解決や未来社会の創造につながる取り組みの発表の場として、ぜひ活用してほしい」と呼びかけた。

地域政策部

9.21 YouTubeを活用したマーケティングについて解説

YouTube集客の鍵



YouTubeを活用したマーケティングを学ぶため、MOUNT EDGE代表の山端秀明氏を講師に迎え、セミナーを開催した。

山端氏は、自身が手掛けているYouTubeの成功・失敗事例を紹介したうえで、「YouTubeを活用した集客を行うには、まずなによりもユーザーターゲットを設定することが大切だ」と説明した。またYouTubeに投稿した動画が多く視聴されるため、サムネイルや概要欄、ハッシュタグの重要性やGoogle戦略を理解し、対応することの必要性を説いた。

中央支部

9.22 川崎会頭が特別講演 約330名が参加

兵庫県立大学 知の交流シンポジウム2023



兵庫県立大学の最先端の研究成果を発信するシンポジウムが開催され、企業経営者、大学関係者ら約330名が参加した。今年は「ポストコロナ時代における新たな産学公連携によるイノベーションの創出」をテーマに、6学部長から社会実装を目指すさまざまな取り組みが紹介された。

午後の部では、特別講演として川崎会頭が登壇し、神戸製鋼所の社長時代に実践した変革の取り組みを紹介。川崎会頭は「企業の成長は、変化・変革によってのみ達成される」との強い信念を語った。

産業部産業・国際チーム

9.25 サービスロボットのビジネス活用の動向と可能性を学ぶ

次世代産業委員会 DXセミナー



次世代産業委員会は、「サービスロボット」をテーマにセミナーを開催した。はじめに、パナソニックホールディングス(株)ロボティクス推進室長の安藤健氏が基調講演。人手不足を背景にサービスロボットのニーズが高まっていると述べ、「単にロボットに作業を置き換えるのではなく、ロボットを活用して業務・事業の変革を目指す“ロボティクストランスフォーメーション”を実現し、付加価値の創出に繋げる視点が重要」と強調した。

講演後には、川崎重工業(株)とスタートアップの(株)Piezo Sonicがそれぞれのサービスロボットを紹介した。

産業部産業・国際チーム

9.26 インボイス制度を具体的に解説

インボイス直前準備セミナー



10月からスタートするインボイス制度について、制度の概要や開始に伴う経理実務を学ぶため、中澤唯公美税理士事務所の中澤唯公美氏を講師に迎え、セミナーを開催した。

中澤氏は、インボイス制度の登録が必要な事業所、必要でない事業所の考え方や経過措置について説明した。続いて、消費税の基本的な計算方法や、「原則課税」「簡易課税」「2割特例」の違いと考え方について解説。参加者からは「かみ砕いて解説してもらい、とても分かりやすかった」などの声が聞かれた。

中央支部